

「創立五十周年」記念

東京都自動車整備教育会館 — 竣工の^{しおり}葉



法 東京都自動車整備振興会



社団法人 東京都自動車整備振興会
会長 福井 忠雄

私達業界の長年の懸案でありました「東京都自動車整備教育会館」は、設計監理の株式会社松田平田設計、施工の大成建設株式会社をはじめ、近隣の方々の深いご理解とご協力によりまして、めでたく「竣工」を迎えることができました。ここに衷心より深く御礼申し上げます。

顧みまするに、新技術・高度整備への対応が業界の急務として「教育施設拡充計画」が策定されましたのは平成三年三月でありました。その後のバブル崩壊、経済環境の激変など、さまざまな曲折を乗り越えて本日に至りました。誠にありがとうございます。

もとより本施設は、自動車ユーザーからの期待と信頼に応えるための「自動車整備技術の研鑽」の場であり、また、新しい世紀の「情報の発信基地」としての役割を果たすためのものでもあります。

“創立五十周年”という節目とあわせ、この「竣工」を契機に、この施設の機能を最大限に発揮することによって、高品質な整備技術を提供しつつ、自動車の安全確保と公害の防止に寄与しなければならないと新たな決意をしているところであります。

会員はもとより、行政ご当局及び関係諸団体のなお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、「竣工」のごあいさつとさせていただきます。

平成十四年五月九日



株式会社 松田平田設計
建築設計者 小林 晋

東京都自動車整備教育会館の竣工、おめでとうございます。東京都自動車整備振興会様の創立50周年を記念するこの事業に参加させていただくとともに、無事竣工できるよう設計・監理を通じ振興会様よりいただいたご指導に対し、御礼申し上げます。

この教育会館は、「21世紀の自動車整備業界及び自動車産業の社会に開かれた窓口となる教育会館」をコンセプトに設計しました。シームレス化していく自動車のデザインを参考にシンプルな建築とし、実車実習場と大会議室及び教育施設の休憩コーナーから内部の活動を正面ガラスのカーテンウォールを通し方南通りに発信することで、人とクルマの新しいコミュニケーションが生まれる窓口を表現できたのではないかと思います。

今後、教育会館が皆様にご利用いただきご満足いただけること、振興会様及び御関係の皆さまのご繁栄を祈念し、竣工の挨拶とさせていただきます。



大成建設 株式会社
建設現場統轄責任者 溝口 浩司

竣工おめでとうございます。

振興会様の50周年記念事業ならびに自動車整備業界の次世代のスタート地点ともいえるこの自動車会館の誕生に対し、微力ながら参画できましたことを心より嬉しく思います。

何より現場の責任者としてしましては、建築条件的に難易度の高い現場であるにもかかわらず、関係各位のご協力により無事故無災害で無事、建物をお引渡し出来ますことを大変喜ばしく、又、誇りに思います。

時代は21世紀を迎え、めまぐるしく変貌を遂げる自動車産業界において、“人とクルマの新しい関係”の創造の場、出会いの場となるこの会館建設に従事することが出来ました事は今後も建設の業務を携わっていく上で、私の中に未永く記憶に残るものになりました。

ありがとうございました。

そして各関係機関の皆さま、お疲れ様でした！

現場写真



(着工前)



(起工式)



(整地)



(地下躯体工事)



(地上鉄骨建方工事)



(建方完了)



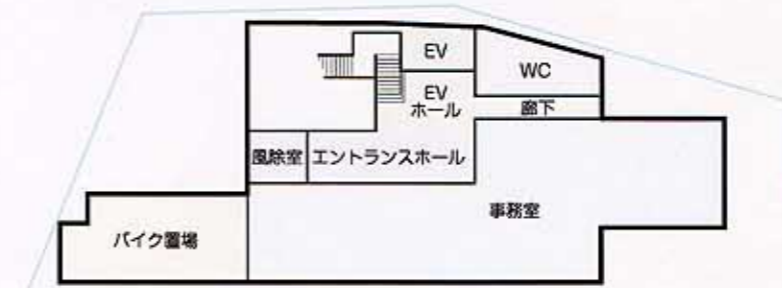
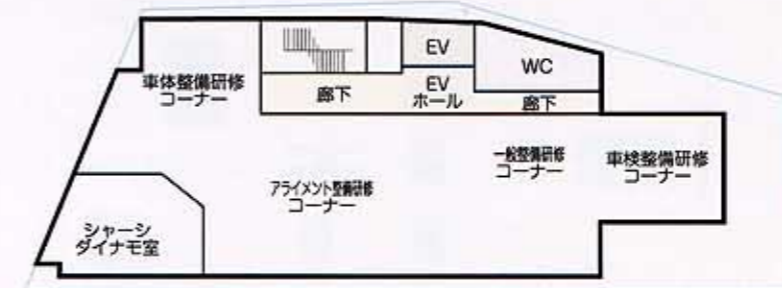
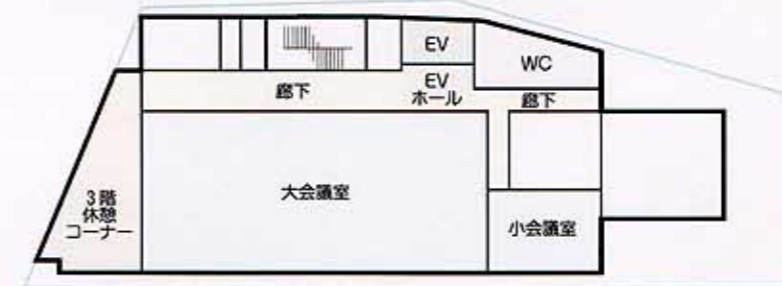
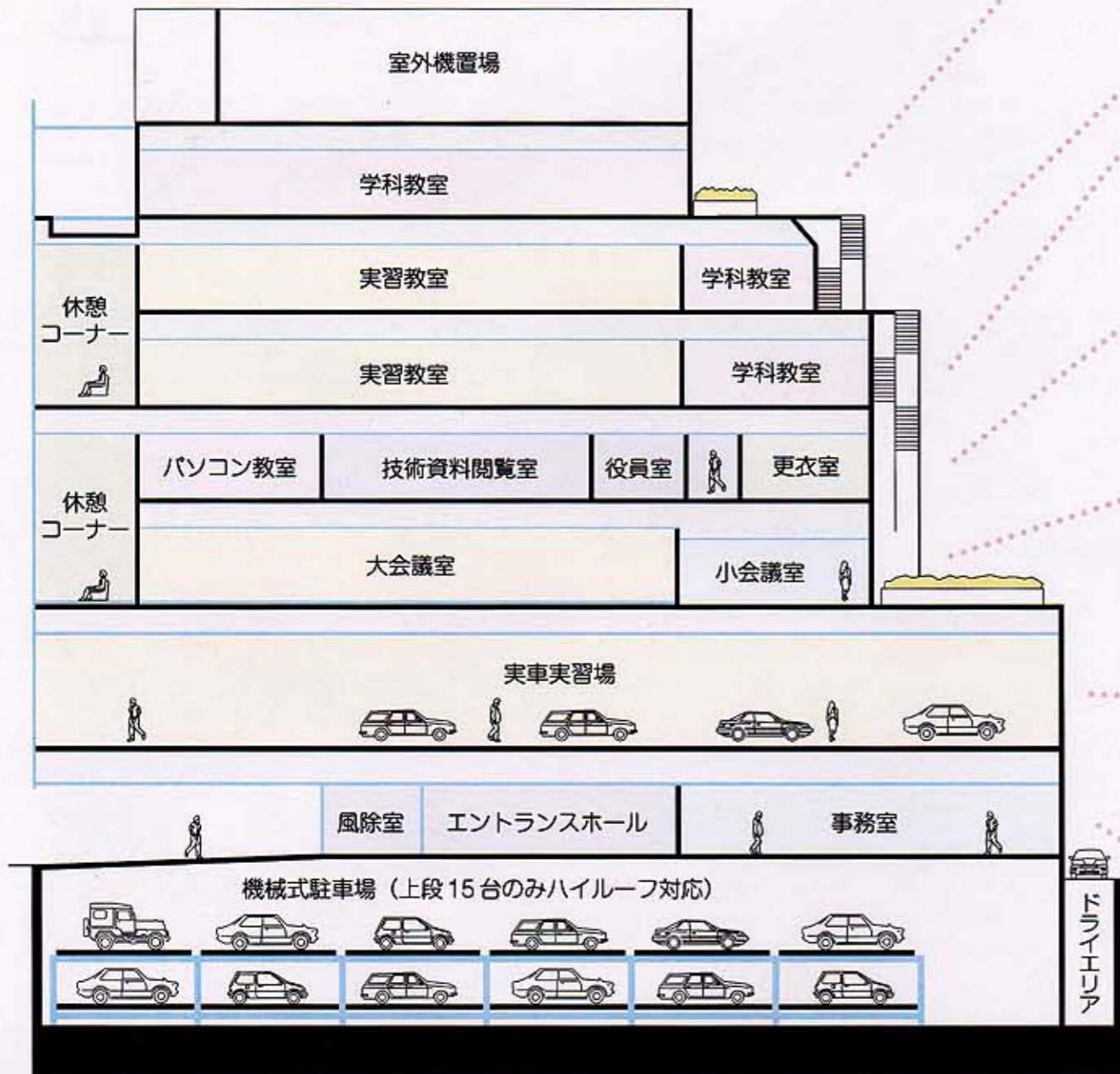
(上棟時執行部視察)



(外觀仕上げ)

- 平成 3 年 3 月 26 日 「教育施設拡充計画」を策定
- 平成 12 年 11 月 8 日 「建設候補地」の決定
- 平成 12 年 11 月 22 日 設計プロポーザルの実施
(株式会社松田平田設計を特定)
- 平成 12 年 11 月 27 日 「基本設計」に着手
- 平成 13 年 1 月 15 日 「地盤調査」を開始
- 平成 13 年 1 月 19 日 「建設計画のお知らせ」(標識)の設置
- 平成 13 年 2 月 2 日 「実施設計」に着手
- 平成 13 年 2 月 10 日 「近隣説明会」開始
- 平成 13 年 2 月 26 日 渋谷区役所へ「建築確認申請」
- 平成 13 年 2 月 26 日 施工会社の「指名競争入札」実施
(大成建設株式会社を特定)
- 平成 13 年 4 月 3 日 設計監理、施工の「契約書」締結
- 平成 13 年 4 月 4 日 地鎮祭(起工式)
- 平成 13 年 4 月 12 日 渋谷区役所から建築許可
- 平成 13 年 6 月 4 日 基礎形状の設計変更
- 平成 13 年 9 月 12 日 検査機器、什器等の購入業者の指名
- 平成 13 年 9 月 26 日 「鉄骨建方」工事はじまる
- 平成 13 年 9 月 27 日 渋谷区役所の「中間検査」
- 平成 13 年 9 月 28 日 「外壁パネルカラースキーム」決定
- 平成 13 年 11 月 26 日 「内装カラースキーム」決定
- 平成 13 年 11 月 30 日 「鉄骨建方」工事終了
- 平成 13 年 12 月 3 日 「外壁」取付工事、内装仕上げ工事はじまる。
- 平成 14 年 3 月 5 日 テレビ電波障害「改善工事」施工
- 平成 14 年 4 月 9 日 渋谷消防署「完成検査」
- 平成 14 年 4 月 12 日 渋谷区役所「完成検査」
- 平成 14 年 4 月 27 日 完成、引き渡し
- 平成 14 年 5 月 9 日 「竣工式」、「五十周年記念式典」

断面図



七階（学科教室）平面図

五階・六階（学科教室・実習教室）平面図

四階（技術資料室・パソコン教室）平面図

三階（大会議室）平面図

二階（実車実習場）平面図

一階（本部事務局）平面図

施工の概要

施設階	主要施設名	施工延床面積(m ²)
P H	空調設備等	17.64 (5坪)
七階	学科教室(2)	462.50(140坪)
六階	学科教室、実習教室	493.28(149坪)
五階	学科教室、実習教室	562.48(170坪)
四階	技術資料室、パソコン教室、役員室	510.35(154坪)
三階	大会議室、小会議室	568.28(172坪)
二階	実車実習場(診断検査機器)	615.86(186坪)
一階	事務室	637.65(193坪)
地下一階	機械式駐車場	594.82(180坪)
計		4,462.86(1,350坪)

■予算規模

用地費	770,000千円
建設費	935,000千円
設計監理費	40,000千円
実車実習場設備費	105,000千円
学科教室設備費	21,000千円
実習教室設備費	10,000千円
本部施設設備費	21,000千円
通信設備費(AV設備等)	20,000千円
その他設備費(警備設備等)	10,500千円

■土地(面積) (税別)

799.01m² (241.7坪)

□設計監理 株式会社松田平田設計

□施工 大成建設株式会社

主な検査機器の諸元・性能

FA-206	BOSCHシャーシダイナモメータ	許容軸重 2000kg ホイールベース2000~3000mm 最大速度 260km/h最大吸出力345PS×2
BSMT-150BAW	スーパーマルチテスタ	許容軸重 3000kg ホイールベース1750~3200mm 移動方法 ギヤモーター、リモコンスイッチで移動
FSA-560	BOSCHカーシステム アナライザ	測定対象車 2・4サイクルロータリーエンジン1~12気筒 測定項目 エンジンテスト・マルチテスト・インジェクションテスト
V-8801	ホイールバランサ	測定対象ホイール 重量65kg・径10~20インチ・巾3.5~20インチ アンバランス測定範囲 500g
WG-150AA-2	サイドスリップテスタ	許容軸重 3000kg 指示計 アナログ式
HT-5055-C-2	ヘッドライトテスタ	測定距離 1メートル式 自動追尾式 前後調整式 測定光度 走行0~12,000cd・すれ違い0~12,000cd
DPL-30ZT	バスカルリフト	能力 3000kg 対象車種 軽~普通自動車 掲程 1700mm 2段プレート・アーム式 駆動法式 電動油圧式
R611-400R	ホイールアライメントテスタ	測定対象リムサイズ 10~18インチ ディスプレイ21インチ 測定項目 トータルトゥ・個別トゥ・キャンバ・ キャスト・セットバック・スラスト角

案内図

所在地

東京都渋谷区本町4-16-4

交通機関

地下鉄大江戸線「西新宿5丁目」駅

徒歩6分



ダイヤルイン

総務部 5365-2311 (代)

事業部 5365-2312

教育部 5365-4300

経済部 5365-3611

東政連 5365-4801

<http://www.tossnet.or.jp>

info@tossnet.or.jp



表紙のイラスト

高島瑞夫 / 1928年石川県生
早稲田大学建築科卒
高島建築研究所一級建築士事務所代表
創元会会員
日展入選